

答えだけを見せないでください。答えが合っているかではなく、とき方が合っているかを見ます。まちがった方法でも答えが合うことがあり、答え合わせでは見つかりません。

この週に見ておきたいこと（内容より大事）

- ・「まだ習ってない」と言われたら、議論せず「そっか、じゃあ今からやろう」と言って40秒で教え直す。
- ・そのあと 何秒で解けたか を記録シートに書く。3秒で出れば定着、40秒かけて思い出したなら本人の申告は本当。
- ・9/6の九九5問は、この計画でいちばん大事な確認です。ここが不安定なら、わり算の前に九九を戻します。
- ・タイマーは「10分で終わり」と上限として見せる。かかった時間は測らない。

9/1（火）大きい数 億と兆

- 1 38000 → 三万八千 520000 → 五十二万
- 2 $250 \times 10 = 2500$ $250 \times 100 = 25000$
- 3 1万 → 10万 → 100万 → 1000万 → 1億 と10倍が4回。1億は1万の10000倍
- 4 三千五百万 → 35000000 二億四千万 → 240000000
- 5 9800000（980万）より 一千万（10000000）のほうが大きい。桁数を数えれば7桁と8桁。
- 6 47030000 → 千万・百万・十万・万… と数えて、7は百万の位
- おまけ 124000000。1000万 $\times$ 10 = 1億、1億 $\times$ 10 = 10億

見るところ

問題2で「0をつける」と言ったら、そのまま流さないでください。12月の小数で必ず崩れます。表を指して「4が万の位から十万の位へ動いた」と言い直させます。

9/2（水）着せ替え A バスケ / B ファイル

本人が選んだ方だけでかまいません。両方やる必要はありません。

A [バスケ]

- 1 $10 \times 10 = 100$ 点 $10 \times 100 = 1000$ 点
- 2 $800 \times 100 = 80000$ 円 $800 \times 1000 = 800000$ 円
- 3 $3000000 \div 10000 = 300$ 倍
- 4 $2500 \times 10 = 25000$ 人
- 5 $1200 \times 10 = 12000$ せき
- 6 $3800 \times 10 = 38000$ 円 $3800 \times 100 = 380000$ 円
- 7 三百五十万円 → 3500000 円
- おまけ 100000000 円（1億円）

B [IT]

- 1 5 MB = 5000 KB
- 2 $300 \div 3 = 100$ まい
- 3 8 GB = 8000 MB = 8000000 KB
- 4 2000 KB = 2 MB (1000 で割る = 位が 3 つ右へ)
- 5 $4 \times 250 = 1000$ MB。1000 MB = 1 GB
- 6 $64 \times 1000 = 64000$ MB
- 7 1 TB = 1000 GB = $1000 \times 1000 = 1000000$ MB (100 万 MB)
- おまけ 2 GB = 2000 MB。 $2000 \div 3 = 666$ あまり 2 → およそ 666 まい

見るところ

どちらを選んだかを記録シートの「衣装」欄に書いてください。2〜3 か月ぶんたまると、彼の本当の入口がどこかが数字で見えます。

1 $96 \div 4 = 24$ $72 \div 6 = 12$

2 $85 \div 4 = 21$ あまり 1。あまりの 1 は「4 人に同じ数ずつ配ったあと、配れずに残った 1 こ」。
ことばで言えたら正解。「1」とだけ書いてあったら、何の 1 かを聞いてください。

3 $\square \times 6 = 78 \rightarrow 78 \div 6 = 13$

4 $138 \div 6 = 23$ $252 \div 7 = 36$

5 $175 \div 8 = 21$ あまり 7

6 $\square \div 4 = 17 \rightarrow 17 \times 4 = 68$ 問題 3 とは逆向きです。両方できたら $\square$ の力は十分。

7 $96 \div 8 = 12$ まい

8 $87 \div 6 = 14$ あまり 3 $\rightarrow$ 14 箱できて 3 こあまる

おまけ $128 \div 5 = 25$ あまり 3

見るところ

筆算の途中で手が止まったら「いま下ろした数は、いくつ分？」と聞きます。「8」ではなく「80 のこと」と答えられるかどうか、この単元の分かれ道です。

問題 3 ($\square$ を求める) は、塾が小 4 で最も重視する力です。ここができていれば、この学年の算数はまず心配ありません。

本人が選んだ方だけで。問題 3 はどちらも同じ「逆算」です。

A [食べもの]

1 $84 \div 4 = 21$ まい

2 $95 \div 7 = 13$ こで 4 こ あまる

3 $8 \times 6 = 48$ 、 $48 + 4 = 52$ こ

4 $72 \div 8 = 9$ こ

5 $100 \div 6 = 16$ まいで 4 まいあまる

6 $900 \div 180 = 5$ ふくろ

7 $1000 \div 120 = 8$ あまり 40 $\rightarrow$ 8 本買えて 40 円のこる

B [ポケモン]

1 $78 \div 6 = 13$

2 $100 \div 7 = 14$ で 2 あまる

3 $6 \times 15 = 90$ 、 $90 + 5 = 95$

4 $144 \div 8 = 18$

5 $90 \div 7 = 12$ で 6 あまる

6 $90 \div 12 = 7$ あまり 6。7 回では 84 で足りないのて 8 回。あまりを切り上げる問題です。

7 $150 \div 24 = 6$ あまり 6。6 回では 144 で倒せないのて 7 回。

復習 $7 \times 8 = 56$ $6 \times 9 = 54$ $8 \times 6 = 48$ $9 \times 4 = 36$ $7 \times 7 = 49$

おまけ 木が 7 本 → 間は 6 つ。 $5 \times 6 = 30$ m。 $7 \times 5 = 35$ は誤り。

見るところ

問題 3 は「わり算をひっくり返す」問題で、9/4 の □ 問題と同じ形です。同じ週に 2 回出しているのは意図的です。ポケモンの問題 6・7（おかしの問題 7 も同じ）は あまりを切り上げる 問題。「7 あまり 6」を見て 7 と答えたら、そこで止めずに「7 回で足りる？」と一度だけ聞いてください。答えを言わずに気づかせられれば最良です。九九 5 問：1 問でも 5 秒以上かかる、または まちがえる → 来週から毎回のウォームアップを九九に変えてください。わり算の筆算は九九の速さで決まります。